

2022 年度

関西学院大学ボランティア活動支援センター

ヒューマン・サービス支援室 活動報告書

関西学院大学 ヒューマン・サービス支援室

■ はじめに

ボランティア活動支援センター長 挨拶	2
富田 宏治	
ヒューマン・サービス支援室長 挨拶	3
関 嘉寛	
ボランティアコーディネーター 挨拶	4
岡 秀和、小林 真綾	
2022 年度学生コーディネーター代表 挨拶	5
西宮上ヶ原・西宮聖和キャンパス 中岩 瞳	
神戸三田キャンパス 菊池 美輝、前田 蒼太郎	

■ ヒューマン・サービス支援室

1. ヒューマン・サービス支援室とは	8
学内における位置づけ	
組織図	
2022 年度の取り組み	
2023 年度の計画	
2. ボランティアコーディネート	11
支援室の利用状況	
外部団体からの情報提供数	
3. 情報発信	13
ホームページ、SNS	
4. 災害支援・防災啓発	14
災害ボランティア養成講座	
#被災者の思い出を守ろう！写真洗浄会	
トルコ・シリア地震募金活動	
5. 地域連携	16
三田地域連携（さんちきれん）	
6. SDGs 啓発	17
食べ残し NO ゲーム体験会	
7. 関西学院大学ボランティアネットワーク（KG-VNET）	18
三田 KG-VNET 交流会	
新入生の心をつかむ！新メンバー募集ってどうするの？	

■ 学生コーディネーター

1. 学生コーディネーター（学生 CO）とは	22
概要	
学生 CO 年間目標	
2. 学生コーディネーターの活動	23
所属人数	
年間活動スケジュール	
活動報告	
春ボラ	
KG LIFE 『はじめようボランティア！なんでも相談コーナー』	
START UP KSC！ 『はじめようボランティア！～ボランティア説明会 & なんでも相談コーナー～』	
ボランティア EXPO	
ボランティア見学ツアー（西宮）	
武庫川女子大学経営学部「シェアード・スタジオ・スタッフ」との交流会	
甲南大学地域連携センター（KOREC）学生スタッフ「なんティア」との交流会	
出張ボラセン	
ボランティア week	
学生 CO 総会	
ボランティア見学ツアー（三田）	
3. 研修	31
基礎研修	
応用研修	
コーディネート研修	
4. 来年度に向けて	33
2023 年度学生コーディネーター代表 挨拶	
西宮上ヶ原・西宮聖和キャンパス 花谷 実咲、佐藤 日和	
神戸三田キャンパス 菊池 美輝、小鹿 陽生	

■ 記録事項

取材記録	36
ボランティア活動支援センター規程	37
ヒューマン・サービス支援室規程	38
ボランティア活動支援センター名簿	39
ヒューマン・サービス支援室名簿	39
2022 年度 学生コーディネーター代表部名簿	39

はじめに



ボランティア活動支援センター長

富田 宏治 (法学部教授・副学長)



2022年度は、2019年以来の新型コロナウイルス感染症の大きな広がりの中、ようやく世界的感染の終息が見通されようとする中で暮れました。日本国内だけでも、7万5000人近くの尊い生命が失われ（2023年5月時点）、この3年余りの間には、各地で深刻な医療崩壊が進行しただけでなく、ロックダウンや営業自粛要請等により無数の人びとが仕事と収入を失い深刻な困窮状態に陥りました。本学学生も決して例外ではなく、社会福祉協議会等によるフードバンクの取り組みに数百名の学生が列をつくるなど、アルバイト激減や保証人の家計急変によって日々の食糧にすら事欠く事態すら広がりました。

2020年度前半のキャンパスの全面閉鎖や、1年半にも及んだオンライン授業の継続、「三密」回避のための活動制限で、ヒューマン・サービス支援室の活動も大きく制約を受け、2022年度もまた思うにまかせぬ状況下での活動がつづきました。そのような中でも、学生コーディネーターはじめ多くの学生諸君が、オンライン環境を最大限活用しながら、さまざまな工夫を凝らし、ねばり強く活動を継続してくれました。ボランティア活動支援センター2022年度活動報告書は、未曾有のパンデミックに直面しつつ、これに真正面から向き合いながら本学のボランティア活動の伝統を絶やさぬため、懸命に奮闘してきた本センター及びヒューマン・サービス支援室の活動記録となっています。

本学には、関東大震災への支援活動はじめ災害支援活動に携わってきた長きにわたる歴史があります。近くは1995年の阪神・淡路大震災を契機として、本学学生・教職員のボランティア組織としてヒューマンサービスセンターが発足。以来20年以上にわたり活動を続けて参りました。これらの伝統を引き継ぎ、2016年4月にはボランティア活動支援センター及びヒューマン・サービス支援室が設立され、大学の責任のもと学生諸君のボランティア活動の支援を行ない、学内のボランティア活動団体相互の連携をはかる態勢が整えられました。

世界的パンデミックという未曾有の「災害」の中、多くの人びとが困難に直面してきたいままさに、ボランティア活動支援センターとヒューマン・サービス支援室の本領が問われようとしています。さまざまな制約が解消されつつ中で、関係者の安全確保を十分に図りつつ、本学のボランティア活動の真髄をどのように発揮していくのか。その課題の大きさと困難さを自覚しつつ、ポスト・コロナにおける新たな発展を展望し、着実に前進して参りたいと存じます。

ヒューマン・サービス支援室長

関 嘉寛 (社会学部教授)



私たち関西学院大学ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室（以下、支援室）の2022年度の活動報告書が完成しました。新型コロナ禍の中で、みなさんと同様に試行錯誤を繰り返しながら、支援室のミッションを達成すべく、悪戦苦闘した1年でした。

2022年度は、運営体制上、大きな変更がなく、今まで積み上げてきたものを再確認し、さらなる発展に向けて、スタッフ・教職員、そして学生スタッフである学生コーディネーターたちと話しをしてきました。オンラインから対面に戻る中で、あらためて、対面でのコミュニケーションの大切さ、楽しさを実感しました。また、徐々にボランティア活動先も新型コロナ拡大前に戻りつつあり、ボランティア活動を通じての学生の学びの場も戻りつつあります。感染拡大には留意しながらも、活動先とのつながり、地域との連携などを改めて広げていこうと考え、活動を展開しました。

中期目標では、「ネットワーク」と「ブランディング」を柱に、連携・講座・広報・災害について支援室の活動を見直してきました。特に、広報については、改めて支援室の活動の特徴と目指すべきものを確認しました。近々、みなさんにもお伝えできると思いますが、私たちは自分たちの持っている資源を再認識し、それを最大限活かす考え方、姿勢で活動を続けていこうと思います。

さまざまな活動の報告になりますが、ぜひみなさんと共有しながら、学生たちに学び多き学生生活を提供する方法をみなさんと考えていけたらと思っています。ぜひ、ご意見やご感想などもいただければ幸いです。これからも、みなさまのますますのご支援・ご指導のほどよろしく申し上げます。

末筆になりますが、みなさまのますますのご発展を祈念します。

ボランティアコーディネーター

岡 秀和



2022年度は感染症の拡大防止対策をしながらも、対面活動が拡大できたことで、学生コーディネーター（以下、学生CO）をはじめ学生たちの何かしたいという思いが具体的な場や形となって推進できた1年となりました。

私は主に神戸三田キャンパスを担当しました。ボランティアEXPOやボランティアweekなどの年間企画が三田キャンパスでもじわじわと浸透し、参加者が増えただけでなく、学生COメンバーが個性を生かして企画を行うことができました。また、三田市社会福祉協議会・三田市若者まちづくり課の皆様と学生COが一体となって、地域活動に参加するきっかけをどう作るかを共に考えることができ、まずは学生CO自身が現場で活動してみようとボランティア見学ツアーを実施することにもつながりました。2023年度はこのつながりを一般学生や学生団体にも繋ぎ、アイデアを共に出し合いながら、参加するだけでなく参画できるようなコーディネーションをしていきたいと思います。

災害支援活動では、「関西学院大学災害コミュニティつむぎ」のメンバーが中心となり、トルコ・シリア地震の救援募金活動を2022年度卒業式・2023年度入学式で行いました。災害NGOのインターン生としてトルコを訪問した学生からの報告も含め、ただ募金を行うだけでなく現地の状況を知り、自分達にできることは何かを考える機会になりました。

これからも、学生とボランティアへ参加する機会とをつなぐだけでなく、学生や関わる皆さんと協同し共に考え参画する過程を重視し、つながりを紡いでいきたいと思います。皆さまからも「こんなことができないか」という提案やお問い合わせをいただければ共に考えたいと思いますので、引き続きご支援・ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

ボランティアコーディネーター

小林 真綾



ボランティア活動支援センター、ヒューマン・サービス支援室が開設してから7年が経ちました。過去2年間はコロナウイルスの影響でオンラインを活用しながら活動を行ってきましたが、2022年度は支援室や学生COの活動、地域のボランティア活動も徐々に対面で再開され、顔を合わせて活動できる喜びを改めて感じることができました。

私は上ヶ原・聖和キャンパスを担当し、学生COとともに試行錯誤しながらボランティアの啓発を行いました。コロナ禍では実施ができていなかった出張ボランティアセンターを3年ぶりに開催したり、春ボラの作成や授業・チャペル登壇を通じて支援室を知らない人や来室したことがない学生へアプローチをすることができました。

学生COは例年実施している企画以外に、春の研修の一環としてグループに分かれてボランティア見学ツアーで西宮地域のボランティア活動に参加したり、他大学の学生スタッフとの交流会を実施しました。学生CO同士だけではなく幅広い年代の方、そして様々な思いを持って活動している方と関わる機会が多く、学びや刺激のある1年だったと思います。

災害支援では現地支援はできなかったものの、トルコ・シリア地震のための募金活動や写真洗浄会などを実施し、多くの学生が「何かしたい」という思いを持って自分の住んでいる地域でもできる活動に取り組むことができました。

コロナ禍で叶わなかったこともありますが、イレギュラーな状況下でも新たな方法を模索し、『対話』を大切にしながら学生COとともに歩んだ1年でした。今後も学生の思いに寄り添いながら、さらに活動を発展させていきたいと思います。2023年度もどうぞよろしくお願いいたします。

2022年度学生コーディネーター 西宮上ヶ原・西宮聖和代表

中岩 瞳 法学部3年



2022年度は、新メンバーが加入して全体で約70名程といった、昨年を上回る非常に大きな団体となりました。また、新型コロナウイルス感染状態も落ち着き、より対面での活動が積極的に出来るようになった1年でした。

私が代表になって初めに思ったことは、メンバーが学生COに入ってよかったと思える環境づくりをすることです。そのために、まずメンバー一人ひとりとコミュニケーションをとることを心がけました。また、メンバー同士やキャンパスを超えての交流も増やして、意見が言える環境づくりをしていきました。

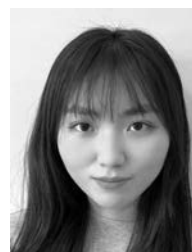
代表として前に立って引っ張ることも大切なことですが、自分の意見を押し付けるのではなく、メンバーの意見を聞くこと、それぞれのやりたいことに背中を押すこと、挑戦できる環境をつくってあげることも、大切な役目だと学ぶことができました。日々の活動に追われてボランティアの楽しさを見失うことがあると思いますが、実際に様々なボランティアに参加して楽しむことも必要だなと感じました。2023年度も、活動を通じてボランティアと多くの人々の想いを結びながら進みます。

最後になりますが、多くのことを挑戦し、一緒に紆余曲折しながら進んだ学生COのメンバー、そして学生COを応援し支えてくれた全ての皆様に心よりお礼申し上げます。

2022年度学生コーディネーター 神戸三田共同代表

菊池 美輝 総合政策学部2年

前田蒼太郎 建築学部2年



2022年度は新型コロナウイルスも収束に向かい、一歩前進できるような活動に挑戦した1年間だったと考えています。

以前はオンラインでしか開催することが出来なかった企画などが対面でも出来るようになり、状況がよくなった反面、この数年で対面活動の経験者が減り、物事が思うように進まないなどの不都合もありました。しかし、三田学生COメンバーで案を一緒に考え、自分たちの役柄に囚われず積極的に行動してくれたおかげで、成功した1年になったのではないかと思います。

新入生に向けての説明会では、ボランティアについての情報はもちろんですが、話しかけやすい雰囲気づくりを大切にしました。よって、学生COに加入した後もスムーズに新メンバーと既存メンバーとのコミュニケーションを行うことが出来、自身の意思で活動に積極的に参加してくれました。また、ボランティア見学ツアーを開催し、学生CO自身のボランティア経験の向上にも努めました。

2023年度以降も今までの経験を活かして、三田学生COとしてボランティアの活性化を努めていきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。

ヒューマン・サービス支援室



1. ヒューマン・サービス支援室とは

学内における位置づけ

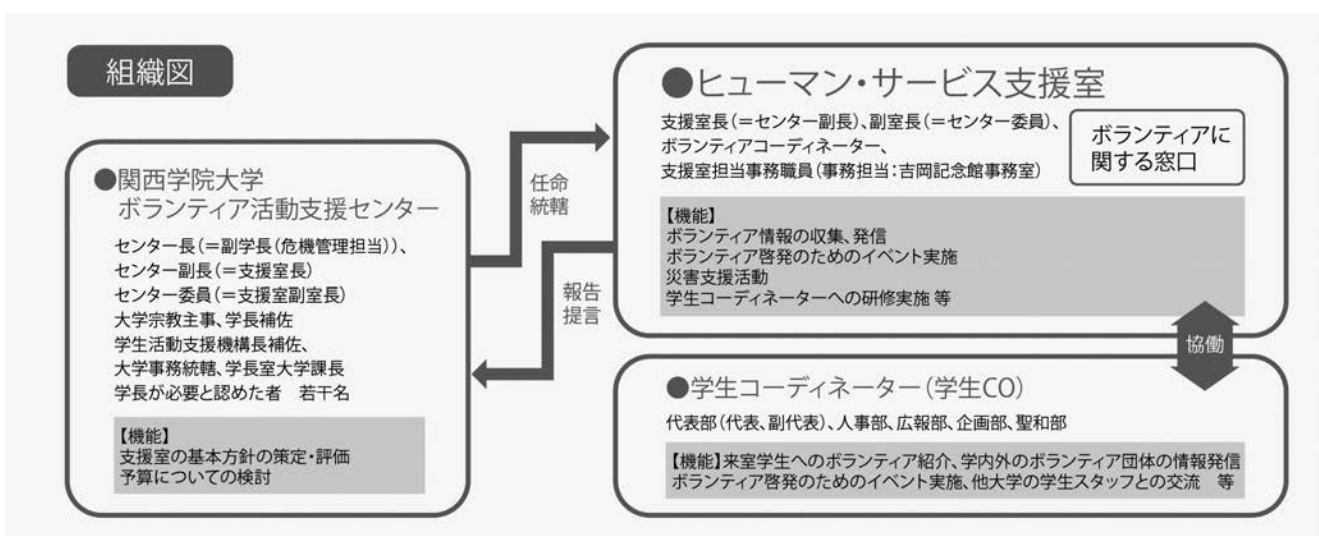
関西学院大学ボランティア活動支援センター、ヒューマン・サービス支援室（以下、支援室）は、大学内におけるボランティアセンターの役割を果たす部署として2016年4月に設置されました。

支援室の母体になったのは、1995年阪神・淡路大震災後に設立された関西学院ヒューマンサービスセンター（HSC）です。HSCでは、教職員と学生が協力して、さまざまなボランティアコーディネートを行っていました。

しかし、HSCは、関西学院大学内におけるボランティア活動の組織的な支援という点において課題を抱えていました。このような課題に対応するために、何年間かにわたる学内協議の末に、大学内に位置づけられた組織として支援室が開設されました。

支援室は、関西学院大学のスクールモットーである“Mastery for Service”を体現するボランティア活動を、さらに広げ、多くの学生が参加できる環境作りをミッションとしています。そのために、ボランティア情報の発信や共有を中心に、ボランティアをしたい学生とボランティアをしてほしいニーズをつなげていく活動を行っています。その過程では、活動している人びと、活動したい学生たちの自主性を尊重することを大切にしています。

また東日本大震災での大学の組織的な支援を再考し、発展させることもヒューマン・サービス支援室に課せられたミッションです。関西学院大学では、関東大震災時もボランティアを現地に派遣しているほど、災害救援において伝統があります。この伝統を受け継ぎ、災害が多発する現代社会において、被災者や被災地に寄り添う活動を組織的に行いたいと考えています。



2022 年度の取り組み

設立から7年目に入る2022年度は、下記の取り組みを行いました。

重点事項	取り組み内容	活動内容
KSCでの活動の活性化	学生団体やキャンパス事務室との連携	KSCのKG-VNET加入団体で交流会を2回実施しました。アイスブレイクや活動紹介、団体の悩みを共有したりなどの有意義な時間を過ごし、つながりを強めることができました。
	活動場所の充実化	通常開室している2号館210教室以外に、第2厚生棟2階の学生ラウンジでイベントを開催したり、第2厚生棟の空きスペースを活用し出張ボランティアセンターを複数回実施しました。
広報戦略の見直し	印刷媒体での広報資料の整理	これまでの広報や発行物に関する振り返りを行い、今後の課題を見直しました。次年度からは発行物も含め目的やターゲットを明確化し、広報に取り組む予定です。
	HP、kwic（学内ポータル）での発信の整理	イベント等の実施報告をHPに掲載し、外部団体の方への発信を行いました。在学生へはkwicを活用し、ボランティア紹介やイベント等の案内をこまめに行ったことで来室してくれる学生が増えました。
	ブランディングの検討	支援室の活動を進める上で大切にしていきたい『ミッション』や『ビジョン』の再検討を行いました。
学生COとの協働	研修の充実化	これまで、新メンバー加入後に基礎研修を実施していましたが、今年度はスキルアップを目的として夏休みに応用研修を実施しました。外部講師をお招きし企画の作り方について学びました。
	個別のコミュニケーション	対面での活動も再開され、顔を合わせてミーティングをしたり、企画を実施することができました。学生CO同士もレクリエーションや学年企画を通じて協働しながら様々な活動を行うことができました。
災害対応の確立・準備	災害、復興支援活動のプラットフォームづくり	毎年実施している講座の運営や2022年度卒業式と2023年度入学式でトルコ・シリア地震のための募金活動を「関西学院大学災害コミュニティつむぎ」と連携し、実施することができました。募金活動当日はつむぎのメンバーをはじめ、多くの学生が活動に参加・協力をしました。
	災害発生時の対応整理	昨年度に引き続き災害発生時の対応の整理を行いました。また災害発生時の対応について大学の役割や課題について総務課と懇談を行いました。

2023 年度の計画

重点事項	取り組み内容
広報の充実	ブランディングの確立
	広報資料の見直し
連携の充実	地域連携の拡大
	学内ネットワークの拡充
KSCでの活動	キャンパス事務室との情報共有
	活動場所の充実
災害対応の確立・準備	災害・復興支援活動のプラットフォームづくり
	災害発生時の対応の整備

2. ボランティアコーディネート

支援室の利用状況

2022年度は、対面の活動も再開し来室者も前年度より増えました。コロナウイルスも終息してはいませんが、地域の活動も再開されはじめ、支援室に寄せられるボランティア情報数も少しずつ増加しています。

対面での活動紹介に加えて、引き続きオンライン会議ツール zoom を用いてのボランティア情報紹介や相談対応も行いました。

【西宮上ヶ原キャンパス】

月別来室者のべ数 (人)

月	ボランティア紹介	ボランティア団体相談	その他	合計
4月	30	1	7	38
5月	26	4	1	31
6月	29	1	7	37
7月	10	1	3	14
8月	4	0	0	4
9月	12	0	0	12
10月	36	2	1	39
11月	11	2	3	16
12月	17	8	47	72
1月	4	0	5	9
2月	0	0	10	10
3月	3	0	1	4
合計	182	19	85	286

【神戸三田キャンパス】

月別来室者のべ数 (人)

月	開室日数	ボランティア紹介	ボランティア団体相談	その他	合計
4月	8回	15	0	32	47
5月	10回	8	0	9	17
6月	14回	14	0	5	19
7月	12回	8	0	1	9
9月	5回	2	1	1	4
10月	12回	11	2	2	15
11月	12回	4	0	27	31
12月	12回	5	9	22	36
1月	8回	2	0	2	4
合計	93回	69	12	101	182

【オンライン】

月別相談者のべ数 (人)

月	ボランティア紹介	ボランティア団体相談	その他	合計
4月	2	0	0	2

【利用者内訳 (Welcomeシート記入者分)】

*Welcomeシートとは、支援室に来室した学生に記入してもらっているシートで、興味があるボランティアのジャンルを√してもらうことでボランティア紹介に活用しています。(人)

キャンパス	西宮上ヶ原								神戸三田							西宮聖和	合計
	神	文	社会	法	経済	商	人間福祉	国際	理工	総合政策	理	工	生命環境	建築	その他		
1年生	0	6	10	18	14	4	11	5	0	32	3	3	2	3	0	4	115
2年生	1	11	5	14	5	2	5	1	0	10	1	1	0	3	0	6	65
3年生	0	2	6	5	14	0	9	1	4	2	0	0	0	0	0	3	46
4年生	0	0	0	4	0	1	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	12
研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4
合計	1	20	21	41	33	7	29	7	7	47	4	4	2	6	2	13	244

※Welcomeシートを記入していない学生や、複数回来室した学生は1枚しかシートを記入していないケースがあるため、来室者のべ数と利用者内訳で人数が違ってきます。

※学生COは来室者数としてカウントをしていません。

※その他は上記学部以外の研究科、科目等履修、教職員等です。

外部団体からの情報提供数

支援室では、提供していただいたボランティア情報を20種類のジャンルに分けて紹介しています。ジャンルは、1つの情報に対して最大3つまで選択しています。

ジャンルごとの情報件数

(件)

子ども・青少年	子どもたち、中高生などに関わる活動（キャンプ、子ども食堂、子どもたちの工作サポートなど）	64
教育	主に教科指導（勉強）に関わる活動（学校内での児童・生徒支援事業、塾での勉強支援、学習支援活動など）	17
福祉（障がい）	障がいがある方の余暇活動の同行、支援施設での活動など	36
福祉（高齢）	高齢者と関わる活動（介護施設での活動など）	11
医療・保健	献血、病院でのボランティア活動、心に病を持つ人への支援活動など	1
国際	国内外問わず、海外の方と関わる活動（海外での支援活動、国内での日本語教育支援活動など）	17
環境	環境保護・保全に関わる活動（植林活動、ごみゼロ運動、清掃活動、水質保全活動など）	23
動物	動物保護、生態系の再生・保全活動など	1
芸術・文化	美術館・博物館での活動、音楽祭のサポート、地域文化の保全活動など	6
スポーツ	スポーツに関わる活動	10
災害支援	防災活動、災害時の救援・支援活動、災害記念式典の運営など	12
まちづくり	地域住民と関わる活動、地域PR活動、まちあるきの運営など	24
祭り・イベント	お祭りや行事の運営、お手伝いなど	30
人権	難民・難病がある方の支援や権利擁護活動など	6
スタディツアー	参加者と現地の人々の相互理解や体験学習を目的とする活動（平和学習、文化体験など）	1
オンライン	zoomなどのwebシステムを利用して在宅で参加できる活動など	18
講座・セミナー	講演会、勉強会、ワークショップなど	16
寄付・募金	団体への支援金、災害時の義援金など	3
KG-VNET	関西学院大学内で活動やミーティング等を行っている団体	31
その他	上記にあてはまらないボランティア活動	11
	総計	338

月別情報件数

4月	20件	春学期合計 92件
5月	14件	
6月	26件	
7月	14件	
8月	8件	
9月	10件	
10月	12件	秋学期合計 68件
11月	13件	
12月	19件	
1月	8件	
2月	6件	
3月	10件	
総計	160件	

3. 情報発信

ヒューマン・サービス支援室では、ボランティアに関する啓発イベントの参加者募集や日常活動の発信のため、ホームページや学内ポータル (kwic)、SNSなどを通じて情報発信をしています。個別のボランティア情報については学内のチラシラックへの配架や掲示板での掲示、支援室での紹介（コーディネート）を通じて発信を行っています。

HP

SNS (Twitter、Instagram、Facebook、YouTube)



ヒューマン・サービス支援室のチラシ



ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室

ボランティア「したい人」と「してほしい人」を繋ぐ
関西学院大学のボランティアセンター！

✉ kg.hssso.info@kwansai.ac.jp ☎ 0798-54-6061



西宮上ヶ原キャンパス
平日 8:50～16:50 (11:30～12:30は閉室)
※土日、祝日、夏季・冬季の一斉休業期間は終日閉室



正門入って、すぐ左



※高槻聖母キャンパスには支援室がないので、徒歩10分あたりまで西宮上ヶ原キャンパスまでご相談ください。

神戸三田キャンパス
火・水・木曜日 10:30～17:00 (11:30～12:30は閉室)
※校日、一斉休業期間、夏休み・春休みは終日閉室



II号館 2階 210 教室



あなたにピッタリなボランティア
一瞬に選んで、ご紹介！
あなたの生活スタイルに合わせて
無理なく気軽にやってみよう！




ボランティア情報



来室予約・相談フォーム



SNS

4. 災害支援・防災啓発

ヒューマン・サービス支援室としては昨年に引き続き、直接的な被災地支援は実施できませんでしたが、コロナ禍での被災地の状況を知る機会などを設け、自分たちにできる事は何なのかを考えました。

昨年はオンラインで実施した「災害ボランティア養成講座」は、西宮市社会福祉協議会と認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク（以下、NVNAD）の他、新たに2021年度に発足した関西学院大学災害コミュニティつむぎも企画メンバーに加わり、3年ぶりに対面での実施ができました。

また、初の試みとして、神戸を拠点として活動している被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」をお招きし、写真洗浄会を実施しました。被災地に行けなくてもできることがあるということ、被災地の状況や支援の大切さについてお話を聞きながら活動に取り組みました。

災害ボランティア養成講座



日 程：2022年9月13日（火）13：00～15：00

場 所：西宮上ヶ原キャンパスH号館302教室

参加者数：22名（うち2名社会福祉協議会実習生、3名教職員）

共 催：西宮市社会福祉協議会ボランティアセンター
NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）

関西学院大学災害コミュニティつむぎ

内 容：防災バッグの中身を考えよう

ハザードマップの役割

災害ボランティアと被災者の関わり

災害時のシュミレーションワークショップ 等

目 的：(1) 西宮や自宅周辺が被災した場合に向けて「備えられる」「ボランティアとして活動できる」学生の養成
(2) 他地域が被災した場合に向けて「行動できる」学生の養成
(3) 地域の災害支援団体と学生が「顔が見える関係性」に



被災者の思い出を守ろう！ 写真洗浄会



- 日 程**：2023年2月26日（日）13：00～15：00
- 場 所**：西宮上ヶ原キャンパス 大学院1号館210教室
- 参加者数**：12名
- 共 催**：被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」
関西学院大学災害コミュニティ つむぎ
- 内 容**：プチ防災セミナー
災害支援活動報告
写真洗浄
- 目 的**：(1) 被災地から離れていてもできる支援活動を行う
(2) 学生・教職員が災害ボランティアに取り組むきっかけを作る

トルコ・シリア地震募金活動



- 日 程**：2023年
3月17日（金）、20日（月）[2022年度卒業式]
4月1日（土）、3日（月）[2023年度入学式]
- 場 所**：西宮上ヶ原キャンパス吉岡記念館1階ラウンジ、正門前
- 参加者数**：延べ33名（準備日を含める）
- 内 容**：募金箱の設置、現地支援の写真・資料展示
- 目 的**：2023年2月に発生したトルコ・シリア地震における被災者・被災地を支援するには大勢の関わりと長期的な関心が必要となるため、学生の支援活動への関わり、関心を醸成する

5. 地域連携

今年度は西宮市社会福祉協議会共生のまちづくり推進課の中川俊亮さんにご協力いただき、初の試みとして西宮地区の活動に学生COが参加させていただくボランティア見学ツアー（P27）を実施しました。KSC支援室では三田市社会福祉協議会のボランティアセンターと三田市役所の若者まちづくり課と連携し、三田地域連携（さんちきれん）として定期的に学生CO・教職員と懇談の機会を設けることができ、春休みには三田版のボランティア見学ツアーを実施することができました。昨年に引き続き、社会福祉協議会との関係性を深め、さらに活動の発展を目指していききたいと思います。

三田地域連携（さんちきれん）



- 日 程：**①2022年8月30日（火）13：00～15：00
 ②2022年11月2日（水）15：30～17：20
 ③2022年12月21日（水）17：00～18：30
 ④2023年3月14日（火）16：00～18：00
- 場 所：**①三田市役所
 ②③④神戸三田キャンパス
- 内 容：**地域活動の報告、各組織の活動紹介、活動の相談や提案等
- 目 的：**地域活動の状況や学生のニーズなど直接地域の方と学生が話し具体的に連携できることを模索する

6. SDGs 啓発

社会課題の解決に向けた取り組みの実践という観点から、ボランティアと同じく SDGs の活動に関学生が関わることは非常に重要だと考えています。2021 年度は 2020 年度から継続して「食べ残し NO ゲーム体験会」を実施しました。この体験会は NPO 法人 DeepPeople が提供しており、ゲームを通じて食品ロス問題と向き合うことができるものです。また、総合企画部（SDGs 部門）とも連携し情報共有などを積極的に行いました。

食べ残し NO ゲーム体験会



日 程：①2022年8月5日（金）13：30～15：00
②2023年3月10日（金）13：30～15：00

場 所：西宮上ヶ原キャンパスH号館 302教室

参加者数：①6名 ②3名

共 催：NPO法人DeepPeople

内 容：・食べ残しNOゲームについて知る
・食品ロスについて知る
・食品ロス削減活動の紹介

目 的：日常生活でできる社会貢献の取り組み例として、食品ロスとその削減について考えるきっかけとする。また、コロナ禍でできるボランティア活動の事例を知る、関西学院大学や関学生の取り組みを知るを通して自身にできることを考える。

7. 関西学院大学ボランティアネットワーク (KG-VNET)

関西学院大学のボランティアの活性化のために、関学生がボランティア団体に所属し、主体的に活動することへの支援はとても重要なことだと考えています。そのため、ヒューマン・サービス支援室がとりまじめを行い「関西学院大学ボランティアネットワーク (KG-VNET)」をつくっています。ヒューマン・サービス支援室は加入団体の広報協力や活動運営の相談に乗る他、連携してイベントを開催する、団体間での交流会を実施するなど様々な形でサポートを行っています。

今年度は、春ボラやボランティア EXPO (P26 参照) などの学生 CO 企画を通じて各団体の新メンバー勧誘をサポートしたほか、募集の工夫を考えるためのワークショップを実施しました。

2022 年度加入団体

○学生連盟加盟団体 (1 団体)

関西学院大学 宗教総部

○大学登録団体 (11 団体)

関西学院大学災害コミュニティつむぎ

アイセック関西学院大学委員会

Eco-Habitat 関西学院

SSV 関西学院

学習ボランティアサークル ALIVE

CLUB GEORDIE

K.G.BrainHumanity

J-FUN ユース K.G.

聖和キャンパス学生 YMCA

乳幼児の遊び研究サークル 子どもの友

ほっとコミュニティ

○学内団体 (8 団体)

ivusa 兵庫西宮クラブ

関西学院大学 YMCA 神戸三田キャンパス

CORs

国内ボランティアサークルつなぐ

日本手話サークルはなまる

HeForShe 関西学院大学

Bridge for Children, KGU

ボランティアサークル Bell

○学外団体 (10 団体)

一般社団法人 new-look

NPO 法人リーダーズカフェ

学生団体 Infinite Connection

関関 COLORS

適応教室 Pal たからづか

西宮地区 BBS 会

西宮まちづくり連携プロジェクト

PENS

ボランティア・フレンド・メディア神戸 (VFM 神戸)

Switch My Angle

三田 KG-VNET 交流会

日 程：①2022年6月23日 (木) 9:00～10:40 ②2022年11月10日 (木) 19:00～20:00

場 所：①神戸三田キャンパス II号館105教室 ②神戸三田キャンパスII号館107教室

参加者数：①10名 (6 団体) ②9名 (4 団体)

内 容：・アイスブレイク ・事前アンケートをもとにグループトーク
・質問会で参考になった意見、共感できた意見の全体シェア

目 的：①参加者同士が連絡を取り合える関係になり、今後も交流をしたいと思える 個人間のつながりができる

②自団体の困りごとや悩みごと、もっとこうしたいということを共有し、他団体の例などを聞くことで 解決に向けて動き出す



新入生の心をつかむ！新メンバー募集ってどうするの？

日 程：2023年2月17日（金）13：00～15：30

場 所：西宮上ヶ原キャンパスE号館104教室

参加者数：11名（4団体）

講 師：川中大輔氏（シチズンシップ共育企画代表/龍谷大学准教授）

内 容：
 ・よびこみ × まきこみの考え方について
 ・「らしさ」「強み」を活用した新歓の検討
 ・各団体が取り組む活動のポイントについて 等

目 的：新入生に自分たちの団体や活動の魅力を伝えられるかを考える
 新メンバー加入後、チームとして一緒に活動していくうえでのポイントを考える



学生コーディネーター



1. 学生コーディネーター（学生 CO）とは

学生 CO は教職員と協働し、「関西学院大学のボランティアの活性化」を目的として活動している団体です。学生 CO の活動は大きく 2 つあります。

①ルーティン活動

支援室を訪れた学生とお話しながらその人に合ったボランティア情報の紹介（コーディネーション）をします。学生 CO それぞれが授業の空き時間を使って実施しており、コーディネーションの他にも、ボランティア情報の整理やイベント準備なども行います。

②イベントの企画・実施

関学生にとってボランティアがより身近なものとなるように、様々なイベントを企画・実施しています。イベントを通じて学内でのボランティアの啓発やボランティアを始めのきっかけ作りなどを目的として楽しいイベントを企画しています。

【学生 CO 年間目標】

2022 年度の目標は「Cheerful One Step!」としました。Cheerful は、「自分から進む、喜んで行く、楽しく・明るく」という意味が込められています。また、Cheerful One の頭文字で CO にもなり、皆が気軽に一步を踏み出して行動し、共に支えあい、CO 同士の交流もさらに深めていきたいという思いから、この目標を設定しました。

以上の年間目標を基に、部署目標、企画目標、個人目標を設定し、1 年間の活動を総括する総会で振り返りを行いました。

① 部署目標

2022 年度は代表部、広報部、人事部に加え、企画部、聖和部を設置し、各部署にリーダーを立てて新たな編成で活動しました。総会では、部署ごとに「新たに挑戦したこと」「来年につなげたいこと」を発表して、各部署の目標を達成することが出来たのかを振り返りました。部署に未所属であるメンバーは部署の全体としての動きを振り返りました。

② 企画目標

様々な企画を立て、年間目標を実現できるようなものが多かったです。ゼロから企画を立てていく過程も楽しみ、イベントを実施する際はみんなと一緒に楽しく行うことが出来ました。徐々に対面活動が再開して他大学との交流をする機会が増え、より外とのつながりをつくることが出来ました。1 年を通して、自分から進んで何かをする機会が多かったため、年間目標の達成をより感じる結果となりました。

③ 個人目標

年間目標を達成するために個人単位で目標を立てました。達成へ向けて年 3 回振り返る機会を設けて、自分自身の学生 CO としての活動を同時に振り返りました。また、ミーティングで全体に共有するとそれぞれの行動が見えて、メンバー内での理解がより深まりました。その結果、多くのメンバーが個人目標を達成することができました。

2. 学生コーディネーターの活動

所属人数 (2022年6月7日時点)

(人)

キャンパス	西宮上ヶ原								西宮聖和	神戸三田						計
	神	文	社会	法	経済	商	人福	国際	教育	総政	建築	理	工	生命	理工	
1年生	0	0	4	1	3	1	4	3	0	3	1	1	3	0		24
2年生	0	0	2	0	1	0	1	0	1	7	1	0	2	0		15
3年生	0	1	1	6	1	2	1	1	2	0					1	16
4年生	0	3	2	2	2	1	0	1	0	4					1	16
M1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1
計	0	5	9	9	7	4	6	5	3	14	2	1	5	0	2	72
各キャンパス計	45								3	24						

年間活動スケジュール

日程	内容	場所・ツール
2022年		
4月初旬	新入生オリエンテーション登壇、「春ボラ」配布	西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパス、西宮聖和キャンパス 各教室等
4月7日(水)	KG LIFE出展 はじめようボランティア！なんでも相談コーナー！	西宮上ヶ原キャンパス B号館302教室
4月7日(水)	START UP KSC！出展 ～はじめようボランティア！ボランティア説明会&なんでも相談コーナー～	神戸三田キャンパス II号館204教室
4月15日(金) 20日(水)～21日(木)、 27日(水)～28日(木)	ボランティアEXPO開催	西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館2階ホール 神戸三田キャンパス 第2厚生棟2階学生ラウンジ 西宮聖和キャンパス ラーニングcommonsリプラ2階
4月～5月	学生CO新歓	対面/オンライン(Zoom)
5月21日(土)	基礎研修	西宮上ヶ原キャンパス H号館301教室
5月22日(日)～6月26日(日)	ボランティア見学ツアー(西宮)	西宮市内 14ヶ所
6月28日(火)～30日(木)	三田出張ボラセン	神戸三田キャンパス 第2厚生棟凹スペース
8月24日(水)、31日(水)	武庫川女子大学経済学部「シェアード・スタジオ・スタッフ」との交流会	武庫川女子大学 KM館7階オープンスペース 西宮上ヶ原キャンパス E号館103教室
9月6日(火)	応用研修	西宮上ヶ原キャンパス B号館102教室
10月1日(土)	甲南大学地域連携センター(KOREC) 学生スタッフ「なんティア」との交流会	西宮上ヶ原キャンパス H号館302教室
10月11日(火)～14日(金)	上ヶ原出張ボラセン	西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館ロビー
10月18日(火)～20日(木)、 25日(火)～27日(木) 11月8日(火)～10日(木)、 15日(火)～17日(木)	三田出張ボラセン	神戸三田キャンパス 第2厚生棟凹スペース
12月6日(月)～10日(金)	ボランティアweek ・スタンプラリー企画 「開け！ボランティアのトピラ」 「Let's ちょいボラ！集めよう！切手・包装紙・ベルマーク」 「ボランティア図書特集コーナー」 「ボランティア個別紹介・相談会」 「福祉体験」 「動画で知ろう！ボランティアのあれやこれ」 「パネル展示～自分に合うボランティアを見つけよう！～」 「ペットボトルキャップでボランティア～ワクチンで世界を笑顔に～」	西宮上ヶ原キャンパス構内 神戸三田キャンパス構内 西宮聖和キャンパス構内
12月17日(土)	学生CO総会	西宮上ヶ原キャンパス 社会学部棟202教室
2023年		
1月18日(水)	関西学院高等部3年生特別プログラム登壇	関西学院高中部礼拝堂
2月18日(土)～3月15日(水)	ボランティア見学ツアー(三田)	三田市内 13ヶ所
3月8日(水)	コーディネーション研修	西宮上ヶ原キャンパス E号館103教室

活動報告

春ボラ



掲載： 新入生へ配布

kwic（学内ポータル）にてデジタルブックを公開

様式： PDF44 ページ（A4判）

印刷部数：6500部

内容： ヒューマン・サービス支援室を含め、関学生が所属するボランティア団体（上ヶ原：8団体、聖和：3団体、三田：8団体、その他：9団体）の活動内容、EXPOの情報などを掲載した「春のボランティア情報誌」を作成

目的： ①自分に合ったボランティア団体を探す手助け

②新しい挑戦の選択肢の中にボランティアを入れてもらう

③関学生のボランティアとヒューマン・サービス支援室及び学生COを結びつける

掲載団体： ヒューマン・サービス支援室、学生CO、その他28団体



○学生連盟加盟団体（1団体）

・宗教総部

○大学登録団体（10団体）

・アイセック関西学院大学委員会

・学習ボランティアサークル ALIVE

・K.G.BrainHumanity

・ほっとコミュニティ

・子どもの友

・聖和キャンパス学生 YMCA

・Eco-Habitat 関西学院

・SSV 関西学院

・CLUB GEORDIE

・J-FUN ユース K.G.

○学内団体（8団体）

・ivusa 兵庫西宮クラブ

・日本手話サークルはなまる

・HeForShe 関西学院大学

・CORs

・関西学院大学 YMCA 神戸三田キャンパス

・国内ボランティアサークルつなぐ

・Bridge for Children, KGU

・ボランティアサークル Bell

○学外団体（9団体）

・一般社団法人 new-look

・学生団体 Infinite Connection

・関関 COLORS

・適応教室 Pal たからづか

・宝塚つばめ学習会（NPO 法人リーダーズカフェ）

・西宮地区 BBS 会

・西宮まちづくり連携プロジェクト

・PENS

・ボランティア・フレンド・メディア神戸（VFM 神戸）

KG LIFE 『はじめようボランティア！なんでも相談コーナー』



- 日 程：**2022年4月7日（水）
 ①10：30～11：30 ②14：00～15：00
- 場 所：**西宮上ヶ原キャンパス B号館 302 教室
- 参加者数：**延べ 211 人
- 内 容：**
- ・ボランティア情報チラシ閲覧コーナーの設置
 - ・ヒューマン・サービス支援室の紹介
 - ・ボランティア活動についての相談対応
- 目 的：**
- ①新入生にボランティアの魅力や、多様な活動があることを知ってもらう
 - ②大学生活の中にボランティア活動という選択肢を持ってもらう
 - ③ヒューマン・サービス支援室を知ってもらい活用してもらう

START UP KSC ! 『はじめようボランティア！～ボランティア説明会&なんでも相談コーナー～』



- 日 程：**2022年4月7日（水）
 ①10：30～11：30 ②14：00～15：00
- 場 所：**神戸三田キャンパス II号館204教室
- 参加者数：**延べ76人（①29人、②47人）
- 内 容：**
- ・ボランティアQ&A
 - ・ヒューマン・サービス支援室の紹介
 - ・活動の注意点
 - ・学生COすどころ
- 目 的：**
- ①新入生にボランティアの魅力や、多様な活動があることを知ってもらう
 - ②新入生に学生COの雰囲気や活動の楽しさを伝える
 - ③新入生が「ボランティアは自分にもできることなんだ！」と気付く

ボランティア EXPO

- 日 程：①2022年4月15日（金）10：30～16：50
②2022年4月20日（水）～21日（木）10：30～16：50
③2022年4月27日（水）～28日（木）10：30～16：50

- 場 所：①西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館2階ホール
②神戸三田キャンパス 第二厚生棟2階学生ラウンジ
③西宮聖和キャンパス ラーニングコモンズリプラ2階

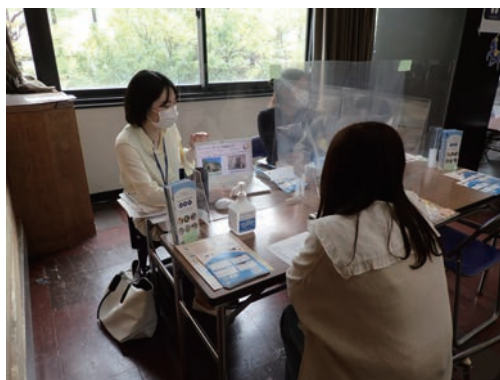
参加者数（延べ）：上ヶ原182名、三田86名、聖和34名

内 容：毎年開催している関学大生が所属するボランティア団体の合同説明会。今年のコンセプトは「テーマパーク」。来場した学生は、自分の興味のある団体のブースを回り、先輩から直接活動内容などの話を聞くことができる。

目 的：「ちょっと新しいことに挑戦してみたいな」「ボランティアに興味があるけど、どうしたらいいかわからない…」と思っている学生の背中を押し、ボランティア団体への所属という選択肢を提示する
会場内では、明るく楽しい雰囲気づくりを心掛け、満足してもらってEXPOで見つけた新しい情報（ボランティア・団体）との出会いにワクワクしてもらうことを目指す

出展団体：ヒューマン・サービス支援室 学生 CO、その他 22 団体

- 学生連盟登録団体（1 団体）
宗教総部
- 大学登録団体（8 団体）
アイセック関西学院大学委員会
K.G.BrainHumanity
ほっとコミュニティ
学習ボランティアサークル ALIVE
CLUB GEORDIE
Eco-Habitat 関西学院
J-FUN ユース K.G.
SSV 関西学院
- 学内団体（8 団体）
ivusa 兵庫西宮クラブ
日本手話サークルはなまる
- HeForShe 関西学院大学
乳幼児のあそび研究サークル子どもの友
CORs
聖和キャンパス学生 YMCA
Switch My Angle
ボランティアサークル Bell
- 学外団体（5 団体）
西宮地区 BBS 会
PENS
西宮まちづくり連携プロジェクト
一般社団法人 new-look
ボランティア・フレンド・メディア神戸（VFM 神戸）



ボランティア見学ツアー（西宮）



- 日 程**：2022年5月22日（日）～6月26日（日）
- 場 所**：西宮市内で活動している地域団体 14 団体
- 内 容**：西宮市社会福祉協議会と連携し、西宮市内で学生 CO 向けボランティア見学ツアーを実施。地域活動について知り、実際に経験する。
- 目 的**：
- ・学生 CO が地域活動を知る
 - ・参加するきっかけ作りを行う
 - ・ボランティアの楽しさや魅力を知る
 - ・ボランティア見学を今後のコーディネートに活かす
 - ・地域と大学の繋がりを作る

武庫川女子大学経営学部「シェアード・スタジオ・スタッフ」との交流会



- 日 程**：①2022年8月24日（水）12：30～15：00
②2022年8月31日（水）10：00～18：00
- 場 所**：①武庫川女子大学 KM 館 7 階オープンスペース
②西宮上ヶ原キャンパス E 号館 103 教室
- 参加者数**：①23 名（関学 12 名、武庫女 11 名）
②24 名（関学 17 名、武庫女 7 名）
- 内 容**：
- ・団体説明
 - ・アイスブレイク
 - ・キャンパスツアー
 - ・交流会（コラボ企画を考えるワーク）
- 目 的**：①他大学・外部団体との繋がり作り（コラボ企画などのきっかけにする）
②双方、様々な企画をしている団体なのでお互いの刺激にする

甲南大学地域連携センター（KOREC）学生スタッフ「なんティア」との交流会



- 日 程**：2022年10月1日（土）9：30～11：30
- 場 所**：西宮上ヶ原キャンパス
H号館302教室、ヒューマン・サービス支援室
- 参加者数**：40名（関学10名 / 職員2名、甲南16名 / 教職員2名）
- 内 容**：
・団体説明
・アイスブレイク
・ヒューマン・サービス支援室見学&キャンパスツアー
・交流会
- 目 的**：学生コーディネーターの活動やその意義について伝える、考える
悩みや希望を共有し合い、大学を超えて相談し合える関係性のきっかけにする

出張ボラセン



- 日 程**：①2022年10月11日（火）～14日（金）
②2022年6月28日（火）～30日（木）
③2022年10月18日（火）～20日（木）
25日（火）～27日（木）
④2022年11月8日（火）～10日（木）
15日（火）～17日（木）
- 場 所**：①西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館ロビー（ポケットママ前）
②③④神戸三田キャンパス 第二厚生棟2階凹スペース
- 来場者数**：①19名、②11名、③12名、④29名
- 内 容**：ボランティア紹介、相談会
ボランティアチラシ特集コーナーの設置 など
- 目 的**：①支援室の認知度を上げる
②支援室が学生主体の相談しやすい空間であることを感じてもらう
③相談者の悩みや疑問を解決して、ボランティア参加の後押しをする

ボランティア week

日 程：2022年12月5日（月）～12月9日（金）

場 所：西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田各キャンパス

参加人数：①18名、④14名、⑤28名

内 容：「ボランティアってどうするの？知ってみよう！やってみよう！ボランティア！」というキャッチコピーのもと、下記8つの企画を実施

1. ヒューマン・サービス支援室企画

- ① 開け！ボランティアのトビラ
- ② Let's ちよいボラ！集めよう！切手・包装紙・ベルマーク
- ③ ボランティア図書特集コーナー
- ④ ボランティア個別紹介・個別相談会

2. 学生 CO 企画

- ⑤ 福祉体験（手話の世界をのぞいてみよう！/点字ってどう書くの？～点字で名刺づくり体験～）
- ⑥ 動画で知ろう！ボランティアのあれやこれ
- ⑦ パネル展示～自分に合うボランティアを見つけよう！～
- ⑧ ペットボトルキャップでボランティア～ワクチンで世界を笑顔に～

目 的：ボランティアに興味はあるが、あと一歩の勇気が出ない人に、ボランティアの情報を提供したり、ボランティアに参加するイメージをつけてもらうために実際に体験してもらうことで次のステップに進んでもらう



学生 CO 総会



- 日 程**：2022年12月17日（土）
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 社会学部棟202教室
参加者数：学生CO 51名/職員 2名
内 容：代替わりを兼ねた1年間を総括する会。また総会に向けて1年間の活動の総まとめとなる資料「2022年度学生CO活動報告書」も作成した。
・アイスブレイク
・個人目標、企画目標、部署目標の振り返り
・次期体制報告、年間目標決め
目 的：学生CO全体で1年間の成果や課題を確認し、来年度の活動について考える

ボランティア見学ツアー（三田）



- 日 程**：2023年2月18日（土）～3月15日（水）
場 所：三田市内の地域活動 13団体
内 容：三田市社会福祉協議会と連携し、三田市内で学生CO向けボランティア見学ツアーを実施。地域活動について知り、実際に経験する。
目 的：
・学生COが地域活動を知る
・参加するきっかけ作りを行う
・ボランティアの楽しさや魅力を知る
・ボランティア見学を今後のコーディネートに活かす
・地域と大学の繋がりを作る

3. 研修

ヒューマン・サービス支援室では、活動の中核にある学生COがコーディネーターとして十分なスキルを発揮するために、研修を行っています。2022年度は5月に基礎研修、9月に応用研修、2023年3月にコーディネーション研修を行いました。

基礎研修

日 程：2022年5月21日（土）13：00～17：30

場 所：西宮上ヶ原キャンパス H号館301教室

参加者数：62名（うち、新メンバー 27名）

講 師：窪田風子氏（豊中市社会福祉協議会/元学生CO）

内 容：①事前研修（講義形式の動画2本を配信。）

- ・ ボランティアとは？ボランティアコーディネーターとは？
ボランティアの要素、語源、する理由、魅力
コーディネートの意味、対等につながるための関心、コーディネーターの8つの役割
- ・ ヒューマン・サービス支援室と学生コーディネーターの歴史と役割
大学ボラセンの存在意義、ヒューマンサービスセンター（HSC）の成り立ちと活動
ヒューマン・サービス支援室の成り立ちと活動・役割、組織体制
学生COの役割、意識すべきポイント（一体感、自主性、協働）

②対面研修

- ・ アイスブレイク
- ・ ボランティアとは何か？
- ・ コーディネーションについて
- ・ ボランティア見学ツアーについて
- ・ 専従コーディネーター

目 的：新たに入会した学生COを対象とした新人研修。上回生とともにボランティアコーディネーターの重要性と基本的な知識及び支援室との関係など基本的な事柄を理解する。また、他者との協働のために必要なこと、自分ができることが何かを主体的に考え、多様性を理解し相手を尊重したうえで対話ができるようになる



応用研修



日 程：2022年9月6日（火）10：00～18：00
場 所：西宮上ヶ原キャンパス B号館102教室
参 加 者：41名
講 師：赤澤清孝氏（大谷大学社会学部准教授）
川島恵美氏（ヒューマン・サービス支援室副室長
/人間福祉学部教授）

内 容：アイスブレイク
チームワークとコミュニケーション
ワクワクする活動（企画）の作り方
今後の活動に向けて～自主性と一体感～

目 的：ひとりひとりが学生COの一員として自分らしさを発揮しながら活動に参画できるようになる



コーディネート研修



日 程：2023年3月8日（水）10：00～15：00
場 所：西宮上ヶ原キャンパス E号館103教室
参 加 者：22名
内 容：アイスブレイク
相手について知ろう！
興味のあるジャンルってなんだろう？
あなたに合うボランティアは？
まとめ
グループワーク

目 的：①コーディネーションで大事なポイントを知る
②4月からの活動に備えて準備をする
③楽しんで積極的に活動できるように自分事として捉える



4. 来年度に向けて

2023年度学生コーディネーター 西宮上ヶ原・西宮聖和代表
 社会学部2年 **花谷 実咲**
 社会学部1年 **佐藤 日和**



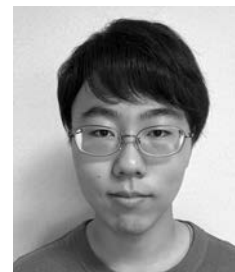
2023年度学生コーディネーターの上ヶ原・聖和キャンパス代表を務めさせていただきます、社会学部2年の花谷実咲と社会学部1年の佐藤日和です。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、活動の制限がなくなり、学生COの活動も幅広く、いろいろなことに挑戦できるようになってきました。また、総勢73名となり、対面活動が増え、メンバー同士の交流も行いやすくなったように感じます。

2023年度は「#みんなでコラボラ」を年間目標として設定しました。コラボレーションとボランティアを掛け合わせ、学生CO内外ともに巻き込んで交流活性化を向上させるという意味が込められています。この年間目標をもとに、ボランティア活性化に貢献することはもちろん、学生CO内でも交流や経験を積み、より活動を充実させていきたいと思っています。

新型コロナウイルスの制限がなくなったことにより、学内でもボランティアをやりたい人が増えてきているように感じられます。そのような学生の挑戦への一歩踏み出すサポートができる「ボランティアコーディネーター」の存在をもっと知ってもらえるよう、学生CO全体で協力し合いながら、活動やイベントをより積極的に行っていきます。そして、「関西学院大学のボランティア活性化」の力になれるよう努めてまいります。

2023年度学生コーディネーター 神戸三田共同代表
 総合政策学部2年 **菊池 美輝**
 建築学部1年 **小鹿 陽生**



2023年度学生コーディネーター神戸三田キャンパス共同代表を務めさせていただきます、総合政策学部2年の菊池美輝と、理学部1年の小鹿陽生です。

三田学生COは、関学生に向けてのコーディネーションやイベントの運営など普段の活動に加えて、他のボランティア団体の活動にも自主的に参加している人が多く、お互いに高め合いながら頑張っています。また2022年度から、三田市役所の方々、社会福祉協議会の方々とお話する機会を多くいただきました。そのご縁もあって、「三田学生サミット」で発表の場をいただいたり、ボランティアツアーやボランティアEXPOといった学生COの年間行事にもご協力いただいたりと、組織としての活動の幅が大きく広がったと感じています。

これからは、学生自身の経験をほかの人たちに広める活動にも力を入れていきたいと考えています。学生COはメンバーも活動内容も魅力的な団体だと思います。この魅力を効果的に伝えていくために、SNSなども活用して、学生COの活動やボランティアの情報を積極的に発信していけるように努めていきたいと思っています。

私たちは、これからも学生CO自身が活動しやすいような雰囲気づくりを心がけます。また、学生CO自身だけでなく、周りの大学生を巻き込んで大学全体としてボランティアを活性化できるようにサポートしていきます。

記錄事項

読売新聞 阪神版 2023. 2. 27 発行



写真洗浄の手配をする学生たち(西宮市)

写真洗浄 思い出修復

関学大生ら 台風で被災の150枚

2019年10月に東北や関東甲信越地方で甚大な被害をもたらした台風19号で、自宅が床上浸水するなどした栃木県栃木市の被災者から、同団体が地元の社会福祉協議会を通じて預かった。写真にはピアノの発表会や運動会、校外学習などの様子が写っている。学生らはゴム手袋をはめ、水をすくませたスポンジで泥を丁寧に落とす。さらにアルコールを付けた布で磨くと、茶色く汚れた部分が白さを取り戻していった。

関西学院大(西宮市)で26日、学生ら13人が、水害で被災した写真約150枚の洗浄に取り組んだ。同大学ボランティア活動支援センターの主催で、写真洗浄に取り組む被災地支援団体「おたがいさまプロジェクト」(神戸市)が指導した。

東日本大震災で被災した写真の洗浄を取り上げた映画を見て興味を持っていたという、社会学部1年田内比奈子さん(19)は「写真が手元に戻った時、被災者が楽しい思い出に一時でも浸ってこれれば」と話していた。

朝日新聞 神戸版 2023. 2. 28 発行



写真の汚れを落とす学生たち(西宮市)

被災写真思い出を取り戻す

関学大生 洗浄ボランティア

水害でぬれたり、汚れたりした写真をきれいな状態に戻して返却する「写真洗浄ボランティア」が関西学院大(西宮市)で26日に開かれた。学生13人が参加し、2時間ほどかけて約150枚を洗浄した。

関学大のボランティア活動支援センターが一学内でできる活動はないかと考えて初めて企画。SNSなどで学生から参加者を募り、写真洗浄に取り組む被災地支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」(神戸市)が指導した。

今回洗浄したのは、2019年10月の台風19号で被災した栃木県栃木市の被災者からボランティア団体が預かった写真。栃木市によると、市内では約8千戸が浸水被害を受けたという。笑顔の人が多く写っている様子が、水にぬれて一部が緑や紫色に変色していた。

手袋をした学生たちは水につけたスポンジで写真をふいた後、エタノールを含んだ布で傷めないように細かい汚れを落とし、一枚ずつ丁寧に仕上げた。

人間福祉学部2年の松本雄希さん(20)は、入学した頃から「いつかボランティアに参加したい」と考えていたという。「写真の顔などを消さずに、汚れだけを取るのが難しかった。大切な思い出の写真がきれいな状態になって、被災者の方の心ケアにつながればうれしいです」と話していた。

(森直由)

ボランティア活動支援センター規程

第1条 関西学院大学に関西学院大学ボランティア活動支援センター（以下「支援センター」という）を置く。

（目的）

第2条 支援センターは、ボランティア活動の支援に関する基本方針を策定する。

（業務）

第3条 支援センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 1 本学のボランティア活動に関する施策の企画・立案
- 2 本学のボランティア活動に関する全学的方針の立案及びその方策の推進
- 3 その他、前条の目的を達成するための業務
- 2 前項の事業を推進するために、支援センターにヒューマン・サービス支援室を置く。

（構成）

第4条 支援センターに次の構成員を置く。

- 1 センター長
- 2 センター副長
- 3 センター委員 3名（西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田各キャンパスから1名）

（センター長）

第5条 センター長は支援センターを代表し、第3条に規定する事項について統括する。

- 2 センター長は副学長の中から、学長が任命する。
- 3 センター長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター副長）

第6条 センター副長はセンター長を補佐する。センター長に事故あるとき、又はセンター長が欠けたときは、その職務を代行する。

- 2 センター副長は本学専任教員の中からセンター長が推薦し、学長が任命する。
- 3 センター副長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター副長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター委員）

第7条 センター委員はセンター長及びセンター副長を補佐する。

2 センター委員は本学専任教員の中からセンター長が推薦し、学長が任命する。

3 センター委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター委員が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター会議）

第8条 ボランティア活動の支援に関する基本方針を定め、それに基づいて、ボランティア活動を評価し管理するため、センター会議を置く。

2 センター会議は次の委員をもって構成する。

- 1 センター長
- 2 センター副長
- 3 センター委員
- 4 大学宗教主事
- 5 学長補佐 1名
- 6 学生活動支援機構長補佐 1名
- 7 大学事務統轄
- 8 大学課長
- 9 学長が必要と認めた者 若干名

3 センター会議は、副学長が招集し、議長となる。

4 センター会議が必要と認めたときは、センター会議の議を経てセンター会議委員以外の者を出席させることができる。

第9条 センター会議は、次の事項を協議する。

- 1 本学のボランティア活動に関する施策の企画・立案
- 2 本学のボランティア活動に関する全学的方針の立案及びその方策の推進
- 3 支援センター予算・決算に関する事項
- 4 支援センター諸規程に関する事項
- 5 ヒューマン・サービス支援室の人事に関する事項

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は、センター会議の議を経て大学評議会で決定する。

附 則

1 この規程は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。

ヒューマン・サービス支援室規程

第1条 この規程は、関西学院大学ボランティア活動支援センター（以下「支援センター」という）規程第3条第2項に基づき、ヒューマン・サービス支援室（以下「支援室」という）について定める。

（目的）

第2条 支援室は、ボランティア活動の支援に関する基本方針に基づき、学生等によるボランティア活動を支援し促進することを目的とする。

（業務）

第3条 支援室は、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 1 ボランティア活動への支援・助言
- 2 ボランティア活動に関する情報収集と提供
- 3 ボランティア活動への啓発
- 4 ボランティア活動に関する評価及びそれに伴う公表
- 5 ボランティア活動協議会の開催
- 6 その他、前条の目的を達成するための業務

（構成）

第4条 支援室に次の構成員を置く。

- 1 室長
- 2 副室長 3名
- 3 ボランティアコーディネーター
- 2 室長は、支援センター副長が兼ねる
- 3 副室長は、支援センター委員が兼ねる

（室長）

第5条 室長は支援室を代表し、第3条に規定する事項について統括する。

- 2 室長は本学専任教員の中から支援センター長が推薦し、学長が任命する。
- 3 室長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、室長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（副室長）

第6条 副室長は室長を補佐する。室長に事故あるとき、又は室長が欠けたときは、その職務を代行する。

- 2 副室長はボランティアに関する知識を有する本学専任教員とし、支援室長が推薦し、学長が任命する。
- 3 副室長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、副室長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（ボランティアコーディネーター）

第7条 ボランティアの全学的な推進と調整を行うため、支援室にボランティアコーディネーターを置く。

- 2 ボランティアコーディネーターは室長が推薦した者を、支援センター長が任命・委嘱する。
- 3 ボランティアコーディネーターの任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、ボランティアコーディネーターが任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

4 ボランティアコーディネーターは学生コーディネーターを助言指導する。

（学生コーディネーター）

第8条 ボランティア活動支援センター長はヒューマン・サービス支援室の業務の遂行にあたって、参加・協力する学生に対し学生コーディネーターを委嘱することができる。

- 2 学生コーディネーターはヒューマン・サービス支援室と協働し、ボランティア紹介とボランティア啓発活動を実施する。

（支援室運営委員会）

第9条 支援室の円滑な運営を図るため、支援室運営委員会（以下「運営委員会」という）を置く。

- 2 運営委員会は次の委員をもって講成する。

- 1 室長
- 2 副室長
- 3 学長補佐 1名
- 4 学生活動支援機構長補佐 1名
- 5 大学課長

3 運営委員会は、室長が招集し、議長となる。

4 運営委員会が必要と認めたときは、運営委員会の議を経て運営委員以外の者を出席させることができる。

第10条 運営委員会は、次の事項を企画・立案し、支援センター会議に提案する。

- 1 ボランティア活動への支援・助言
- 2 ボランティア活動に関する情報収集と提供
- 3 ボランティア活動への啓発
- 4 ボランティア活動に関する評価及びそれに伴う公表
- 5 ボランティア活動協議会の開催
- 6 その他、前条の目的を達成するための業務

（協議会）

第11条 室長は、関西学院大学で活動するボランティア団体の交流・協働を促進するため、室長、副室長による協議会を置き、開催する。

（規程の改廃）

第12条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て大学評議会で決定する。

附 則

- 1 この規程は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。
- 2 この規程は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。
- 3 この規程は、2019年（平成31年）4月1日から改正施行する。

了解事項

ボランティアコーディネーターは期限付契約職員とする。

ボランティア活動支援センター名簿

ボランティア活動支援センター長 富田 宏治（法学部教授・副学長）	ボランティアコーディネーター 岡 秀和
ボランティア活動支援センター副長 関 嘉寛（社会学部教授）	小林 真綾
ボランティア活動支援センター委員 川島 恵美（人間福祉学部教授） 岩坂 二規（教育学部准教授） 照本 清峰（建築学部教授）	

ヒューマン・サービス支援室名簿

ヒューマン・サービス支援室長 関 嘉寛（社会学部教授）	ボランティアコーディネーター 岡 秀和
ヒューマン・サービス支援室副室長 川島 恵美（人間福祉学部教授） 岩坂 二規（教育学部准教授） 照本 清峰（建築学部教授）	小林 真綾

2022年度 学生コーディネーター代表部名簿

〈西宮上ヶ原キャンパス〉	〈神戸三田キャンパス〉
代 表：中岩 瞳（法学部 3年）	共同代表：前田 蒼太郎（建築学部 2年）
副代表：船引 香歩（社会学部 3年）	菊池 美輝（総合政策学部 2年）
彌園 夏希（商学部 3年）	

2022 年度
関西学院大学ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室 活動報告書
2023 年 12 月 発行

関西学院大学ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

TEL: 0798-54-6061 FAX: 0798-54-6161

E-mail: kg.hssso.info@kwansei.ac.jp

URL: https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer/